USB MO ディスクドライブ

MO-P640USB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
・本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚡感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。
また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり、飲み込んだりすると大変危険です。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

本製品は内部で半導体レーザーを使用しています。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべて他のメディア（MOディスク、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。

禁止

MOディスクを入れたまま移動しないでください。

動作中やMOディスクを入れた状態で本製品を移動しないでください。

MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。

禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

強制

MOディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・誤った使い方をしたとき
- ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- ・故障、修理などのとき
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにした後、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- ・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ
- 静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電または漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

MOディスクは次の点に注意して大切にお使いください。

- MOディスクに、直接触れたりしないでください。
  →MOディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れ　たり、傷がつくとデータが読めなくなります。
- MOディスクを分解しないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 強い磁界が発生するところに置いたり、近づけたりしないでください。
  →データに悪影響をおよぼす場合があります。
- ほこりなどにさらさないでください。
- 直射日光を当てないでください。
- MOディスクのクリーニングを行ってください。
  →MOディスクの表面に、ほこりやたばこの煙などが付着し、MOディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のMOディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。
- MOディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
  →ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でMOドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剥がれ、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

市販のレンズクリーナーを使用しないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、レンズ部に損傷を与える恐れがあります。レンズ部はほこりが入らない構造になっていますので、レンズのクリーニングは必要ありません。

本製品にアクセスしているときは、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● USBバスパワーで動作可能

USBポートから電源を供給するため、ACアダプタを必要としません。

※ 次の場合は、別売りのACアダプタ（AC-DC5）が必要となります。

・本製品をバスパワードハブ（ACアダプタなどの電源がないハブ）に接続する場合。

・パソコン本体のUSBコネクタの仕様により、本製品の動作に十分な電源供給が行われない場合。

・弊社製USB2.0インターフェースIFC-USB2CBを併用される場合。

● USBコネクタ（シリーズA）に接続可能

パソコンやUSBハブのUSBコネクタ（シリーズA）に接続できます。

※ 本製品をバスパワードハブ（ACアダプタなどの電源がないハブ）に接続した場合、別売りのACアダプタ（AC-DC5）が必要になります。

※ USBコネクタが装備されていないDOS/V機を使用している場合は、弊社製USBインターフェース（別売）を使用してください。

● メディアID付きMOディスクに対応

メディアID付きMOディスクを使用することで、ホームページなどで配信されている音楽・映像データなど、著作権を保護したまま保存することができます。【P29参照】

● コンパクトなサイズ

143mm(W)×108mm(H)×22mm(D)(突起物含まず)、本体重量400gの持ち運びに便利なサイズです。

● 縦置き・横置き両対応

本製品は縦置きの向きでも横置きの向きでも使用できます。【別紙「はじめにお読みください」参照】

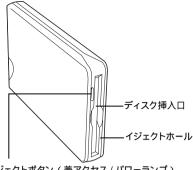
● Windows・Macintosh両対応

本製品は以下の環境で使用できます。

DOS/V機(OADG仕様)/PC98-NXシリーズ
　WindowsXP/2000/Me(Millennium Edition)/98SE(Second Edition)/98、

Macintoshシリーズ/iMacシリーズ/iBookシリーズ/PowerBookシリーズ
　Mac OS 9.0.4以降/Mac OS X 10.0.4以降

各部の名称

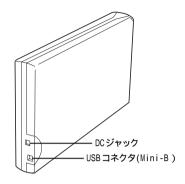
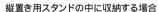
<< 前面 >>

イジェクトボタン（兼アクセス / パワーランプ）
点灯（緑）：電源投入時
点滅（緑）：アクセスしているとき

<< 背面 >>

<< 縦置き用スタンド >>

縦置き用スタンドの中にイジェクトピンを保管することもできます。
ケーブル収納機構を採用しているため、以下の図のようにUSBケーブルを収納でき、本製品からのケーブル抜けも防ぎます。

USBケーブル

〈縦置き用スタンドの中に収納する場合〉

付属品の確認は別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

電源のON/OFF

本製品は、USBポートから電源を供給します。そのため、パソコン本体の電源のON/OFFに合わせて自動的にON/OFFになります。

⚠注意
- **本製品に電源スイッチはありません。パソコンのUSBコネクタが使用できる状態であれば、接続すると自動的に電源がONになります。**
- **別売りのACアダプタ（AC-DC5）をお使いの場合、パソコン本体の電源ON/OFFに合わせて動作しません。ACアダプタを取り外すと電源がOFFになります。**
- **パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品の電源がOFFになるまでに時間がかかることがあります。**

セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

Windows搭載パソコン

メモ　詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットする

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する

Macintosh

メモ　詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

本製品にUSBケーブルを接続する

▼

パソコンにUSBケーブルを接続する

● PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンストモード」になっていることを確認してください。
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできません。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。
アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]をクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● Windows98(Second Editionを除く)を使用しているときは、次の確認を行ってください。
① [マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
②メニューが表示されたら、[プロパティ(R)]をクリックします。
③ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
④ [ユニバーサルシリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。

[NEC PCI to USB Open Host Controller]と表示されている場合は、Windows98 System updateをインストールする必要があります。その他のデバイス名が表示されている場合は、インストールは不要です。

※ Windows98 System updateは、マイクロソフト社のホームページ
(http://windowsupdate.microsoft.com/)からダウンロードできます。

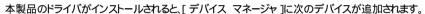
Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップを行います。詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

● **本製品のユーティリティがインストールされると、[プログラム]フォルダに[MOユーティリティ]フォルダが追加され、次のユーティリティが登録されます。**

- **MOフォーマット【P17参照】**
- **MOコピー【P25参照】**
- **ダストシュート【P27参照】**
- **アンインストーラ【P29参照】**

※「MOコピー」と「ダストシュート」は、WindowsMe/98SE/98用のユーティリティです。WindowsXP/2000ではインストールされません。

● **本製品のドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ]に次のデバイスが追加されます。**

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsMe	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス(注)
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
	記憶装置	USB光ディスク
Windows98SE/98	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	MELCO INC. USB-IDE Bridge Adapter
	ハードディスクコントローラ	MELCO INC. USB-MO Drive
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
WindowsXP/2000	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
	記憶域ボリューム	汎用ボリューム

(注)緑色の丸に白地で?マークが表示されていますが、これはWindowsMeが汎用のドライバをインストールしたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

メモ [デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。

WindowsMe/98SE/98 .. [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

WindowsXP .... [スタート]をクリック→[マイコンピュータ]を右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

Windows2000 ..... [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

2
セットアップ

Macintoshでのセットアップ手順

Macintoshに本製品をセットアップします。セットアップは、本製品をパソコンに接続するだけです。次の手順でパソコンに接続してください。

⚠注意　あらかじめ本製品に縦置き用スタンド（またはゴム足）を取り付けておいてください。

1 パソコンの電源スイッチをONにします。

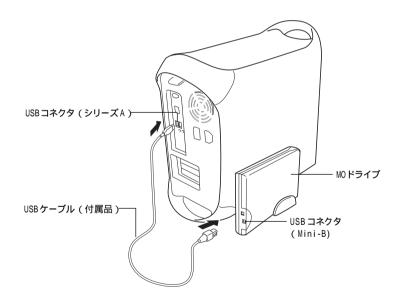
2 付属のUSBケーブルを本製品のUSBコネクタ（シリーズB）に接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

Mini-B
（本製品に接続）

3 パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。

以上で本製品のセットアップは完了です。

次のページへ続く

本製品の使いかた

使用時の注意

Windows 搭載パソコンと Macintosh に共通の注意

● MOディスクのフォーマット（初期化）について
MOディスクは、使用する前にフォーマットする必要があります。【P17】

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。

⚠注意 **イジェクトボタンが点滅しているときは、絶対にUSB機器（本製品含む）からUSBケーブルを抜き差ししないでください。MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● USBケーブルを抜くときは
・本製品は必ずP16に記載の手順で取り外してください。
・USBケーブルを抜く前に本製品から必ずMOディスクを取り出してください。

● 本製品からOSを起動（ブート）することはできません。

● パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。
サスペンド機能、レジューム機能、スリープ機能などは使用しないでください。MOディスクが認識できなくなることがあります。また、パソコン本体に本製品を接続していると、省電力モードに移行できないことがあります。

● MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。
本製品内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。
取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P35】

● 本製品の接続直後にパソコンからアクセスすると、アクセスエラーが発生することがあります。この場合、数秒待ってから再度アクセスしてください。
接続直後は、本製品の準備ができていないためアクセスエラーが発生することがあります。

● 複数のUSB機器と併用したいときは、弊社製USBハブUHB-S7/S4（別売）などを使用してください。
本製品をバスパワードハブ（ACアダプタなどの電源がないUSBハブ）に接続する場合、別売りACアダプタ（AC-DC5）が必要となります。

次のページへ続く

Macintoshだけに関する注意

● DOSフォーマットのMOディスクについて
次の場合、DOSフォーマットのMOディスクを本製品にセットすると、Mac OSに標準に付属しているフォーマッタが起動します。その場合は、[取り出し]をクリックしてMOディスクを取り出してください。

・540MBを超える容量のMOディスクを挿入した
DOSフォーマットの640MBのMOディスクは、Mac OSでは使用できません。
※DOSフォーマットのMOディスクの場合は、128MB/230MB/540MBが使用できます。

・File Exchangeが無効になっている
File Exchangeの設定が無効になっていると、DOSフォーマットのMOディスクは使用できません。
※File Exchangeは[アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[File Exchange]で設定できます。
DOSフォーマットのMOディスクを使用するには、[File Exchange]の[PC Exchange]タブ内のチェックボックスが3箇所すべてチェックされている必要があります。

● Mac OSを終了するときは
お使いのパソコンによっては、Mac OSを終了してもMOディスクが自動的に排出されないことがあります。Mac OSを終了させる前に本製品から必ずMOディスクを取り出してください。

● カードリーダーと併用する場合
パソコンを起動(再起動)するときは、必ずカードリーダーからメディア(スマートメディアやコンパクトフラッシュなど)を取り出した状態で行ってください。

MOディスクの挿入

MOディスクのラベル面を左に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、イジェクトボタンが3～4秒間点滅します。

⚠注意 パソコンからMOディスクへのアクセスは、イジェクトボタンが点灯しているときに行ってください。点滅しているときは、MOディスクにアクセスできません。

MOディスクの取り出し

＜Windows搭載パソコンの場合＞

本製品のイジェクトボタンが点灯していることを確認し、イジェクトボタンを押します。MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

＜Macintoshの場合＞

デスクトップにあるMOディスクのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップすれば、MOディスクが排出されます。本製品のイジェクトボタンは通常使用しません。MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

⚠注意
・イジェクトボタンが点滅しているときは、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。
・イジェクトボタンが点灯していないときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは排出されません。パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、本製品からMOディスクを取り出しておいてください。MOディスクを取り出せないときは、「MOディスクが取り出せないとき」【P15】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。

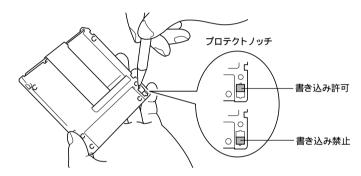
MOディスクが取り出せないとき

イジェクトボタンが消灯しているときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクを排出できません。その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

⚠注意 イジェクトピンを使用するときは、本製品をパソコンから取り外してから行ってください。

MOディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。
ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。
再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。

3
本製品の使いかた

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で本製品を取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

注意 本製品を取り外す前に、必ず本製品からMOディスクを取り出してください。【P14「MOディスクの取り出し」】

WindowsXP/Me/2000

注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1 本製品からMOディスクを取り出します。

2 タスクバーのタスクトレイに表示されているアイコン をクリックします。

3 表示されたメニューから次のメッセージをクリックします。

WindowsXP:[USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(F:)を安全に取り外します]
WindowsMe:[USB光ディスク-ドライブ(F:)の停止]
Windows2000:[USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(F:)を停止します]

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

※画面はWindowsMeの例です。

4 WindowsXP/2000では、「USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます」、WindowsMeでは「USB光ディスクは安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。

5 本製品を取り外します。

Windows98SE/98、Macintosh

本製品からMOディスクを取り出した後、パソコンから本製品を取り外します。

メモ Windows98SE/98で使用する場合、タスクトレイに表示されるアイコン は、USBドライバの表示です。取り外すときこのアイコンを操作する必要はありません。そのまま取り外すことができます。

MOディスクのフォーマット

本製品にセットしたMOディスクをフォーマットする方法を説明します。

※ フォーマットとは、MOディスクなどの記憶メディアをパソコンで使用できるように処理（初期化）することです。

フォーマット時の注意

他のアプリケーション（エクスプローラなど）が起動しているときは終了してください。

● MOディスクに記載されている容量は、1MB＝1,000²byteで計算されています。
ただし、Windows上でフォーマットするときやプロパティでMOディスクの容量を確認するときは、1MB＝1,024²byteで計算されるため、表示される容量が異なります。

● MOディスクによっては、フォーマットに数十分かかるものがあります。
本製品の動作が停止しているように思われても、アクセスランプが点灯または点滅している間はフォーマットしています。そのままフォーマットが終わるまで待ってください。

Windows搭載パソコンでのフォーマット

Windowsには標準でフォーマッタが添付されていますが、異なるOS間でMOディスクを共有して使用する場合に互換性による問題が生じることがあります。MOディスクをフォーマットするときは、インストールされたフォーマッタ「MOフォーマット」を使用してください。
ここでは「MOフォーマット」の使いかたや使用上の注意について説明しています。

MOフォーマットに関する注意

● MOフォーマットを使用すると、MOディスク内のデータは全て消去されます。大切なデータを必ずバックアップしてからフォーマットしてください。

● MOフォーマットではパーティションを作成できません。また、リムーバブルメディア以外（ハードディスクなど）のフォーマットもできません。

● 本製品以外でのMOフォーマットの使用は、弊社では保証しておりません。

● FAT32フォーマットされたディスクは、WindowsMe、Windows98SE/98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）、WindowsXP/2000でのみ使用できます。

● MOフォーマットの起動中は、エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見ないでください。
見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOフォーマットを終了し、再度エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見てください。

次のページへ続く

● WindowsXP/2000をお使いの方へ

・WindowsXP/2000のフォーマット機能でフォーマットすれば、NTFS形式でMOディスクをフォーマットできますが、MOディスクを想定したフォーマット形式でないため、FAT16またはFAT32でフォーマットすることをおすすめします。

・MOフォーマットでは、NTFSのフォーマットはできません。

・MOフォーマットでフォーマットされたMOディスクをWindowsXP/2000のフォーマット機能で再フォーマットする場合、いったんNTFS形式でフォーマットしてから希望のフォーマット形式でフォーマットしてください。

・NTFS形式フォーマットのMOディスクをWindowsXP/2000で使用すると、そのMOディスクはWindowsXP/2000でしか読み書きできなくなります。

・NTFS形式フォーマットのMOディスクを書込み禁止にした場合、書き込みだけでなく読み出しもできません。

・Ver.6.10以前のバージョン(*)のAplix社製「WinCDR」(CD－R/RWライティングソフトウェア)がインストールされている環境では、MOフォーマッタが正常に動作しません。株式会社アプリックスのホームページ(http://www.aplix.co.jp/)から、最新ドライバ(aplix2k.sys)をダウンロードし、インストールしてください。

＊:WinCDRを起動し、メニューから、[ヘルプ]-[バージョン情報]を選択することにより確認できます。

MO フォーマットの起動と終了

・起動方法 ....　[スタート]－[プログラム(P)]－[MELCOINC INC]－[MOユーティリティ]－[MOフォーマット]を選択してください。

・終了方法 .....　MOフォーマットの[閉じる(C)]をクリックしてください。

フォーマット手順

次の手順でMOディスクをフォーマットします。

⚠注意
・フォーマットすると、MOディスク内のデータはすべて消去されます。フォーマットする前に、消去してもよいデータか必ず確認してください。
・フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチを一切操作しないでください。
・MOフォーマットを起動する前に、本製品をパソコンに接続しておいてください。
・誤って他のMOドライブを操作してしまわないために、MOドライブは1台だけ接続することをおすすめします。

1　フォーマットしたいMOディスクを本製品に挿入し、MOフォーマットを起動します。
【P19「MOフォーマットの起動と終了」】

2

ここをクリックして［バージョン情報(A)］を選択すると、MOフォーマットのバージョン情報が表示されます。

① フォーマットするMOドライブ（本製品）を選択します。

② フォーマット方法を選択します。

③ フォーマット形式を選択します。

④ 必要に応じてボリュームラベルを入力します（最大半角英字11文字）。

⑤［開始(S)］をクリックします。

・ドライブ情報 ....

<ホストアダプタ番号>:<ターゲットID>:<LUN番号>

MOドライブの名称　　MOディスクの容量

・フォーマット方法 .... ［標準］：論理フォーマットのみ行います（通常はこちらを選択します）。
［完全］：物理フォーマットを行い、その後に論理フォーマットを行います。

・フォーマット形式 .... ［FAT16］と［FAT32］が選択できます。
※ FAT32フォーマットされたMOディスクは、WindowsMe/98SE/98、、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)、WindowsXP/2000でのみ使用できます。

・ディスクチェック .... 表示内容を更新します。MOフォーマットを起動した後にMOディスクを挿入した場合や、MOディスクを入れ替えた場合にクリックします。

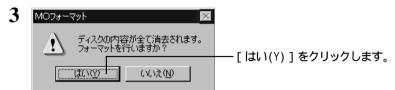
次のページへ続く

フォーマット方法で[完全]を選択している場合

「物理フォーマットは数分から数十分を要します。(以下略)」というメッセージが表示されます。物理フォーマットしてもよければ、[はい(Y)]をクリックします。

物理フォーマット中は経過時間が表示されます。

⚠注意　お使いの環境によっては、経過時間の表示が進まないことがあります。本製品のイジェクトボタンが点灯していれば物理フォーマットは動作していますので、完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

3

⚠注意　フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチ、USBケーブルの操作を一切行わないでください。

4

MOディスクが排出されます。

以上でフォーマットは完了です。

Mac OS 9でのフォーマット

Mac OS 9におけるフォーマット手順です。
OS X以降の手順は、次項をお読みください。

1　フォーマットしたいMOディスクを本製品に挿入します。

未フォーマットのMOディスクや、540MBを超える容量のDOSフォーマットMOディスクを挿入した場合は、フォーマッタが自動的に起動します。P21の手順3以降に従って操作してください。

2　MOディスクのアイコンが反転表示になっていることを確認し、[特別]－[ディスクの初期化...]を選択します。

次のページへ続く

3

① 必要に応じてMOディスクの名前を入力します。

② フォーマット形式を選択します。(*)

③ ［初期化］をクリックします。

MOディスクがフォーマットされます。

* 選択可能なフォーマット形式は次のとおりです。

Mac OS標準	Mac OS8.1よりも前のシステムでも使用できます。 （ボリュームラベル:最大半角英数字27文字/全角13文字まで）
Mac OS拡張	Mac OS8.1よりも前のシステムでは使用できません。 （ボリュームラベル:最大半角英数字27文字/全角13文字まで）
DOS	使用しないでください。
Universal Disk Format ...	使用しないでください。

以上でフォーマットは完了です。

Mac OS X 10.0.4でのフォーマット

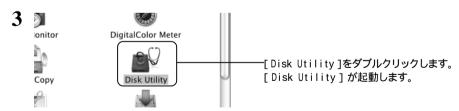
Mac OS Xの「Disk Utility」でフォーマットします。本項はMac OS X 10.0.4の手順です。
Mac OS X 10.1以降の手順は、次項をお読みください。

⚠注意 MOディスクをMac OS 9、Mac OS Xで併用する場合は、Mac OS 9でディスクをフォーマットしてください。

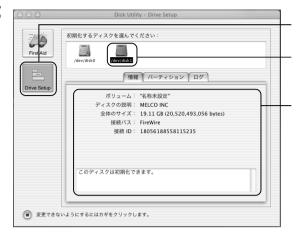
1 デスクトップの[Macintosh HD]アイコンをダブルクリックします。

2 [Applications]フォルダの中の[Utilities]フォルダを開きます。

3

[Disk Utility] をダブルクリックします。
[Disk Utility] が起動します。

4 フォーマットするMOメディアを挿入します。

次のページへ続く

5

① ［Drive Setup］をクリックします。

② フォーマットするディスクをクリックします。

③ フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報はメディアによって異なります。

6

① ［パーティション］タブをクリックします。

② MOディスクに名前をつける場合はここに入力します。

③ フォーマット形式を選択します。

④ ［パーティション］をクリックします。

メモ 選択可能なフォーマット形式は次のとおりです。
Mac OS 標準:Mac OS 8.1よりも前のシステムで使用できます。
Mac OS 拡張:Mac OS 8.1よりも前のシステムでは使用できません。
Unixファイルシステム:使用しないでください。

7

① メッセージを読みます。

② ［パーティション］をクリックします。

MOディスクがフォーマットされます。フォーマットが終わったら「Disk Utility」は終了してください。

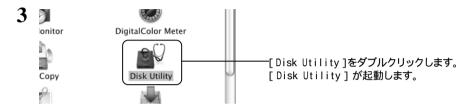
Mac OS X 10.1以降でのフォーマット

Mac OS Xの「Disk Utility」でフォーマットします。本項はMac OS X 10.1以降の手順です。
Mac OS X 10.0.4の手順は、前項をお読みください。

⚠注意 MOディスクをMac OS 9、Mac OS Xで併用する場合は、Mac OS 9でディスクをフォーマットしてください。

1 デスクトップの[Macintosh HD]アイコンをダブルクリックします。

2 [Applications]フォルダの中の[Utilities]フォルダを開きます。

3

4 フォーマットするMOディスクを挿入します。

5

4

MOディスクのフォーマット

次のページへ続く

6

Disk Utility

1 ディスク と 0 ボリューム が選択されました

情報 | First Aid | 消去 | パーティション | RAID

38.35 GB IBM-
55.90 GB WDC
217.93 MB

ディスクの説明： MELCO INC
全体のサイズ： 217.93 MB (228,518,400 バイト)
接続バス： FireWire
接続 ID： 18056192853016880

変更できないようにするにはカギをクリックします。

① フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は挿入したディスクによって異なります。

② ［パーティション］タブをクリックします。

7

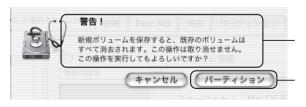
① MOディスクに名前をつける場合はここに入力します。

② フォーマット形式を選択します。

③ □をクリックし、チェックをはずします。

④ ［OK］をクリックします。

メモ　選択可能なフォーマット形式は次のとおりです。
Mac OS 標準:Mac OS 8.1よりも前のシステムで使用できます。
Mac OS 拡張:Mac OS 8.1よりも前のシステムでは使用できません。
Unixファイルシステム:使用しないでください。

8

① メッセージを読みます。

② ［パーティション］をクリックします。

MOディスクがフォーマットされます。フォーマットが終わったら「Disk Utility」は終了してください。

5 付録

付属ユーティリティ、困ったときの対処方法、本製品の仕様についてここでは説明しています。

MOディスク間のコピー（WindowsMe/98SE/98）

本製品付属の「MOコピー」を使用すれば、1台のMOドライブで、MOディスク間のコピーが簡単にできます。

- **MOコピーは、他のアプリケーション（エクスプローラなど）をすべて終了してから操作してください。**
- **誤ってコピー元のMOディスクを上書きしないよう、コピー元のMOディスクは書き込み禁止にしておくことをおすすめします。【P15】**

制限事項

● コピーは同じ容量のMOディスク間でだけ行えます。コピー元とコピー先のMOディスクの容量が異なる場合はコピーできません。

例）・コピーできる
640MBのMOディスク→640MBのMOディスク
・コピーできない
230MBのMOディスク→640MBのMOディスク

メモ　Windows標準のディスクコピー機能は、MOディスク間のコピーには対応していません。

● ハードディスクドライブを経由してデータをコピーするため、コピーするMOディスクの容量以上の空き容量が1台のハードディスクに必要です。

● ファイルフォーマットがFAT16形式のMOディスクを使用している場合にだけ、高速でコピーできます。

● MOコピーの起動中は、エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見ないでください。
見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOコピーを終了し、再度エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見てください。

● 本製品以外でのMOコピーの使用は、弊社では保証しておりません。

● 「MOコピー」はWindowsMe/98SE/98用です。WindowsXP/2000にはインストールできません（対応していません）。

コピー手順

1 **［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO INC］－［MOユーティリティ］－［MOコピー］を選択します。**

2

① コピーに使用するMOドライブ（本製品）を選択します。

② ［開始(S)］をクリックします。

次のページへ続く

メモ　パーシャルコピー機能について

［パーシャルコピー機能を使用する(P)］のチェックマーク（✓）を付けた状態（初期状態）で［開始(S)］をクリックすると、ファイルデータだけがコピーされます。そのため、コピーにかかる時間が短くなります。チェックマークを外した場合、コピー元のMOディスク内にあるすべての情報がコピーされます。

> パーシャルコピー機能は、次のMOディスクをコピー元としたときに使用できます。
>
> ・本製品付属の「MOフォーマット」でFAT16形式フォーマットしたMOディスク
>
> 次のMOディスクをコピー元にした場合、パーシャルコピーはできませんので、チェックマークは外してください。
>
> ・「MOフォーマット」以外のフォーマッタでフォーマットされたMOディスク
> ・FAT16形式以外のフォーマット形式（FAT32やNTFSなど）のMOディスク
> ・Macintoshフォーマット（HFSなど）のMOディスク

3　コピー元のMOディスクを本製品にセットします。

4

MOコピー

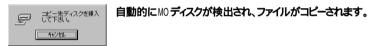
MOのコピーを開始します。コピー元のMOディスクを挿入して、OKを押してください。

OK　キャンセル

［OK］をクリックします。

3　コピー先のMOディスクを本製品にセットします。

自動的にMOディスクが検出され、ファイルがコピーされます。

6

MOコピー

コピーが完了しました。同じディスクを複製しますか？

はい(Y)　いいえ(N)

同じ内容をさらに別のMOディスクにコピーするときは［はい(Y)］をクリックします。MOコピーを終了するときは［いいえ(N)］をクリックします。

以上でコピーは完了です。

MO ディスク内のファイルの削除（WindowsMe/98SE/98）

本製品付属の「ダストシュート」を使用すれば、MO ディスク内のファイルを完全に削除できます。
ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOSのUndeleteコマンドでも復旧できないため、機密データの削除に最適です。

メモ Windows上の操作で削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティやDOSのUndeleteコマンドで復旧できることがあります。

制限事項

- ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOS の Undeleteコマンドでは復旧できません。
  必要なデータは絶対にダストシュートでは削除しないでください。
- ダストシュートはファイルフォーマットが FAT16/32 形式の MO ディスクの場合にだけ使用できます。
- フォルダを削除することはできません。
- ダストシュートで削除できるのは MO ディスク内のファイルだけです。
  ハードディスクドライブなど他のメディア内のファイルは削除できません。
- ダストシュートによるデータの削除後もファイル名の痕跡だけは残ります。
  ファイルの実体は残りません。
- 本製品以外でのダストシュートの使用は、弊社では保証しておりません。
- 「ダストシュート」はWindowsMe/98SE/98用です。
  WindowsXP/2000 にはインストールできません（対応していません）。

5
付録

削除手順

1 ［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO INC］－［MO ユーティリティ］－［ダストシュート］を選択します。

デスクトップ画面上の［ダストシュート］アイコンをダブルクリックしても起動できます。

2 削除したいファイルの入った MO ディスクを本製品に挿入します。

3 削除するファイルをダストシュートの画面にドラッグ＆ドロップします。

［参照(B)］をクリックして、削除するファイルを選択することもできます。

次のページへ続く

4

① 削除するファイルを選択して反転表示にします。

② ［削除開始(D)］をクリックします。

複数のファイルを削除するときは、[全選択(A)]をクリックしてすべてのファイルを選択してから[削除開始(D)]をクリックします。また、<Shift>キーまたは<Ctrl>キーを押しながらマウスをクリックして、複数のファイルを選択することもできます。

5

［はい(Y)］をクリックします。

ファイルが削除されます。

6

さらに他のファイルを削除するときは［いいえ(N)］を、ダストシュートを終了するときは［はい(Y)］をクリックします。

以上でファイルの削除は完了です。

メモ 上記の手順以外にも、次の方法でダストシュートによるファイルの削除ができます。

※ 次の方法の場合、削除するファイルが下の方の階層にあると、同時に複数のファイルを削除できないことがあります。その場合は、複数回に分けてファイルを削除してください。

＜方法1＞

① エクスプローラや［マイ コンピュータ］でMOディスクの内容を表示し、削除したいファイルを右クリックします。
② 表示されたメニューから［送る(N)］－［ダストシュート］を選択します。
③「...個のファイルを削除します」と表示されたら、［はい(Y)］をクリックします。
④「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

＜方法2＞

① デスクトップ画面上の［ダストシュート］アイコンに、MOディスク内の削除したいファイルをドラッグ&ドロップします。
②「...個のファイルを削除します」と表示されたら、［はい(Y)］をクリックします。
③「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

ユーティリティのアンインストール（Windowsのみ）

本製品付属のユーティリティが不要になったときは、次の手順でアンインストールしてください。

1 ［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO INC］－［MOユーティリティ］－「アンインストール］の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

メディアIDについて

本製品はメディアID付きMOディスクに対応しています。ここではメディアIDについて説明します。

⚠注意 MacOSでは、メディアIDに対応していません。

メディアIDとは

固有の番号(メディアID)付きのMOディスクを使用することで、ホームページなどで配信されている音楽・映像データなど、著作権を保護したまま保存する機能です(メディアIDが付いていないMOディスクでは、著作権保護されたデータを保存することはできません)。

またメディアID付きMOディスクは、著作権に関係の無いデータも従来通り保存することができます。

メディアID付きMOディスクには、MOマークがついています。

メモ 詳しくは、弊社ホームページ(http://buffalo.melcoinc.co.jp/pd/mediaid/index.html)のメディアIDについての解説ページを参照ください。

5

付録

メディアIDドライバのインストール

メディアID付きMOディスクを使用して、著作権が保護してあるデータを保存するには、あらかじめメディアIDのドライバをインストールする必要があります。次の手順でインストールしてください。

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

簡単セットアップが起動します。

※起動しないときは、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 簡単セットアップメニューから、［メディアIDドライバのインストール］を選択して、［開始］をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

以上でインストールは完了です。

メディアID対応MOディスクへの保存

メディアIDに対応したソフトウェアを使用して保存します。ここではWindows Media Player 7を例に説明します。Windows Media Player 7は、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

メモ MOディスクに保存したいデータ(音楽など)をホームページからハードディスクにダウンロードしておいてください。ダウンロードはホームページの指示に従ってライセンスの発行・支払い手続きを行ってください。

1 **メディアID付きMOディスク(フォーマット済み)を本製品にセットします。**

2 **Windows Medeia Player 7を起動します。**

※起動する前にMOディスクを必ず本製品にセットしてください。

3 **[ポータブル デバイス]をクリックします。**

4 **[デバイス上の音楽]から本製品(MOドライブ)を選択します。**

5 **[コピーする音楽]からコピーしたい項目をクリックし、チェックマークをつけます。**

6 **[音楽のコピー]をクリックします。**

※MOディスクへコピーできる回数、コピーしたMOディスクから再生できる期間などは、データ元の販売条件によって異なります。

※データ元の販売条件によってはメディアID付きMOディスクでもコピーできないことがあります。

以上でMOディスクへの保存は完了です。

困ったときは

本製品が認識されない（ドライブアイコンが表示されない）

USBケーブルが本製品やパソコンに正しく接続されているか確認してください。

MO ディスクに書き込めない

MOディスクのプロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。プロテクトノッチを書き込み許可の位置にしてください。

アクセス時に「ドライブの準備ができていません」というメッセージが表示される

MOディスクが正しく本製品に挿入されているか確認してください。
MOディスクの挿入後、イジェクトボタンが点滅している間はドライブは準備中です。イジェクトボタンが点灯してから操作を行ってください。

MO ディスクが取り出せない

イジェクトボタンが消灯しているときは、イジェクトボタン押してもMOディスクは排出されません。
Macintoshの場合は、MacOS終了時に自動でMOディスクが排出されますが、機種によっては排出されないことがあります。「MOディスクが取り出せないとき」【P15】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。

空き容量はあるが MO ディスクにファイルをコピーできない

FAT16形式でフォーマットされたMOディスクの場合、ルートディレクトリに記録できるファイルの数には上限があります（ロングファイル名のファイルがない場合に最大512個）。

そのため、MOディスクに空き容量があるにもかかわらずファイルがコピーできない場合は、ルートディレクトリにあるファイルを1つ削除してフォルダを作成してください。その後、そのフォルダ内にファイルをコピーしてください。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合はパソコンに標準搭載のドライブ（ハードディスクなど）を使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

MacintoshでMOディスクをセットしてもすぐに排出される

メディアを入れたままのカードリーダー(弊社製MCRなど)と併用した場合、本製品に未フォーマットのMOディスクを挿入するとすぐに排出され、MOディスクをフォーマットできません。

カードリーダー内のメディアを取り出してからフォーマットしてください。

簡単セットアップを完了してもMOドライブのアイコンが表示されない

WindowsMe/98SE/98

ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
別紙「はじめにお読みください」に記載の手順に従って簡単セットアップでドライバを再度インストールしてください。

WindowsXP/2000

USBケーブルが接続されていない可能性があります。USBの接続を確認してください。

WindowsXPでの書き込み速度が遅い

本製品をWindowsXP搭載パソコンに接続すると、書き込みキャッシュ(*)が無効になります。WindowsXPで本製品の性能を発揮するには、次の手順で書き込みキャッシュを有効に変更してください。

*ドライブのキャッシュとパソコンのメモリを使用して書き込み時の処理速度を向上させる機能です。
*出荷時設定では有効になっています。また、WindowsXP以外のOSでは、無効に切り替わることはありません。

① [スタート]をクリックします。
② 表示されたメニューから、[マイコンピュータ]を右クリックします。
③ [管理]をクリックします。
④ [デバイスマネージャ]をクリックします。
⑤ [ディスクドライブ]をダブルクリックします。
⑥ [ユニットドライブ名]をダブルクリックします。
ユニットドライブ名は製品によって異なります。
⑦ [ポリシー]をクリックします。
⑧ [パフォーマンスのために最適化する]をチェックします。
⑨ [ディスクの書き込みキャッシュを有効にする]をチェックします。
⑩ [OK]をクリックします。

以上の手順で書き込みキャッシュは有効になります。

WindowsXPに接続して、書き込みキャッシュの設定が無効になってしまった本製品を他のOSで使用するときは、本製品のイジェクトボタンを押しながら電源をONにすることで有効にすることができます。
手順は次のとおりです。
① パソコン本体の電源スイッチをONにします。
② イジェクトボタンを押したまま本製品をパソコンに接続します(自動的に本製品の電源がONになります)。

以上の手順で書き込みキャッシュは有効になります。

本製品を接続したら画面全体が青くなり何も操作できなくなった（WindowsMe）

WindowsMeでは、簡単セットアップでドライバをインストールする前に本製品を接続するとシステムが停止することがあります。このようなときは、USBケーブルを抜きパソコンの電源をOFFにしてください。続いて別紙「はじめにお読みください」に記載の手順に従って簡単セットアップでドライバをインストールしてください。

UHB-S4（弊社製USBハブ）を使用すると本製品が認識できない

USBコントローラに「Intel 82801BA/BAM USB Universal Host Controller または Intel 82801BA/BAM UHCI」を使用しているパソコン（※）では、本製品をUHB-S4に接続しないでください。本製品が認識されない、または正常に動作しないことがあります。このようなときは、本製品をパソコン本体のUSBコネクタに直接取り付けてください。

※USBコントローラの認識方法

WindowsMe/98SE/98: [マイコンピュータ] アイコンを右クリック→ [プロパティ(R)] をクリック→ [デバイスマネージャ] タブをクリック→ [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。

WindowsXP: [スタート] をクリック→ [マイコンピュータ] を右クリック→ [管理(G)] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック→ [USB(Universal Serial Bus)コントローラ] をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。

Windows2000: [マイコンピュータ] アイコンを右クリック→ [管理(G)] をクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック→ [USB(Universal Serial Bus)コントローラ] をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。

動作環境

温度　5～35℃

湿度　20～80%(結露なきこと)

消費電力

最大　2.5W

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

■ 保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

弊社ホームページ(https://online.melcoinc.co.jp/user_t/index.html)にて、ユーザー登録できます。

※ ユーザー登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。
※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

MO-P640USBユーザーズマニュアル

2002年10月2日 初版発行
発行　　株式会社メルコ